

ウィークリーレポート

2018年2月13日

2018年2月13日号

■ 主要指標の動き

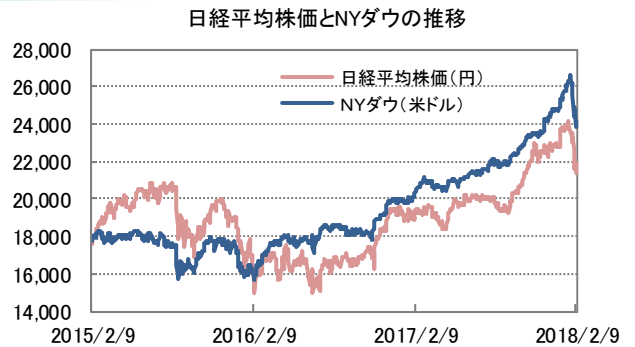
	先週末	騰落率				
		2/9	1週間	1カ月	3カ月	
株式関連	日経平均株価	21,382.62	▲8.13%	▲10.35%	▲6.50%	
	TOPIX	1,731.97	▲7.09%	▲8.33%	▲4.48%	
	JPX日経インデックス400	15,342.58	▲6.89%	▲8.41%	▲4.82%	
	NYダウ(米)	24,190.90	▲5.21%	▲4.71%	3.11%	
	S&P500(米)	2,619.55	▲5.16%	▲4.79%	1.35%	
	FTSE100(英)	7,092.43	▲4.72%	▲8.26%	▲5.23%	
	DAX(ドイツ)	12,107.48	▲5.30%	▲9.55%	▲8.16%	
	香港 ハンセンH株	11,901.67	▲12.09%	▲2.89%	1.34%	
	中国 上海総合	3,129.85	▲9.60%	▲8.32%	▲8.69%	
	インド ムンバイSENSEX	34,005.76	▲3.03%	▲1.27%	2.27%	
	ブラジル ポベスバ	80,898.70	▲3.74%	2.58%	10.93%	
	債券関連	日本10年国債利回り	0.070%	▲0.015	0.005	0.045
		米国10年国債利回り	2.851%	0.010	0.298	0.510
ドイツ10年国債利回り		0.745%	▲0.022	0.279	0.370	
米国ハイイールド債券		380.87	▲1.36%	▲2.13%	▲0.69%	
その他		東証REIT指数	1,664.31	▲4.18%	▲1.40%	2.82%
	S&P先進国REIT指数	240.05	▲4.37%	▲7.58%	▲8.94%	
	S&P香港REIT指数	379.09	▲4.79%	▲11.03%	▲5.79%	
	S&PシンガポールREIT指数	329.22	▲5.27%	▲7.34%	▲0.51%	
	ブルームバーグ商品指数	85.64	▲3.90%	▲2.79%	▲2.07%	
	NY金先物	1,315.70	▲1.62%	0.15%	2.19%	
	アレリアンMLPインデックス	1,207.99	▲4.40%	▲6.26%	1.46%	

	先週末	変化率		
		2/9	1週間	1カ月
米ドル	108.88	▲0.52%	▲3.78%	▲4.54%
ユーロ	133.43	▲2.51%	▲1.50%	0.96%
英ポンド	151.65	▲2.86%	▲1.21%	1.42%
豪ドル	84.69	▲3.63%	▲4.69%	▲3.17%
カナダ・ドル	86.38	▲3.20%	▲5.26%	▲3.52%
ノルウェー・クローネ	13.75	▲4.05%	▲2.00%	▲1.57%
ブラジル・リアル	33.12	▲4.03%	▲5.24%	▲5.59%
香港ドル	13.92	▲0.57%	▲3.80%	▲4.85%
シンガポール・ドル	81.77	▲2.20%	▲3.71%	▲2.32%
中国・人民元	17.20	▲1.04%	▲1.21%	▲0.06%
インド・ルピー	1.71	▲0.58%	▲5.00%	▲3.39%
インドネシア・ルピア	0.80	▲2.44%	▲5.88%	▲5.88%
トルコ・リラ	28.48	▲2.77%	▲5.76%	▲3.46%
南アフリカ・ランド	8.97	▲3.03%	▲1.75%	11.43%
メキシコ・ペソ	5.77	▲3.35%	▲2.20%	▲3.35%

※債券の騰落率は利回りの変化幅
 ※米国ハイイールド債券はICE BofAメリルリンチ・US・ハイイールド・BB-B・インデックス
 ※東証REIT指数は配当なし
 ※S&P先進国REIT指数は除く日本、米ドルベース、配当なし
 ※S&P香港REIT指数、S&PシンガポールREIT指数は米ドルベース、配当なし
 ※NY金先物は1トロイオンス当たりの米ドル建価格
 ※アレリアンMLPインデックスは米ドルベース、配当込み
 ※インドネシア・ルピアは100通貨単位での表示

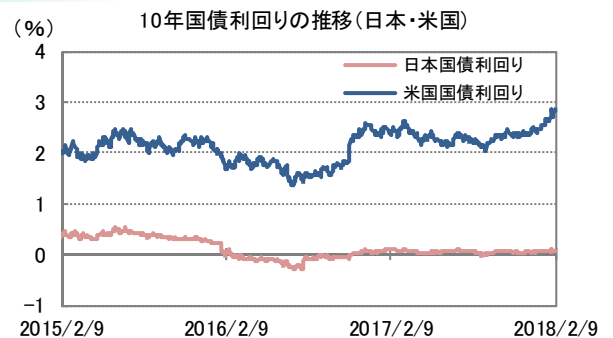
■ 株式市場

内外の株式市場が大幅下落。米長期金利上昇をきっかけに米国株式が急落となり、株価変動率の高まりを背景に売りが売りを呼ぶ展開となった。日経平均株価は2017年10月以来、約4カ月ぶりの安値水準で週を終えた。NYダウは前日比で1,000米ドル以上下落した日が2日となるなど、値動きの荒い展開が続いた。ただし、週末は短期的な戻りを期待した買いが入り、3日ぶりに反発した。米国の企業業績や景気動向に変化はないとの見方も支えとなった。



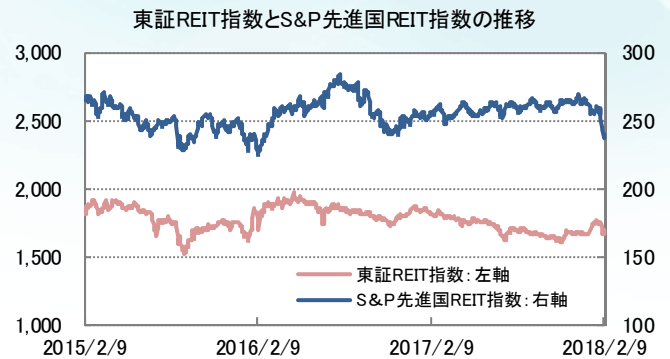
■ 債券市場

日本10年国債利回りは低下(価格は上昇)。国内株式の大幅下落や日銀の国債買い入れオペによる需給の引き締めを見込んだ買いが優勢。米国10年国債利回りは小幅上昇(価格は下落)。米国株式の急落を受けてリスク回避目的の買いが先行したが、10年物、30年物の米国国債入札が低調となったことや米上院の与野党指導部が今後2年間の歳出上限を3,000億米ドル程度引き上げることで合意したことなどを背景に金利上昇懸念が根強かった。



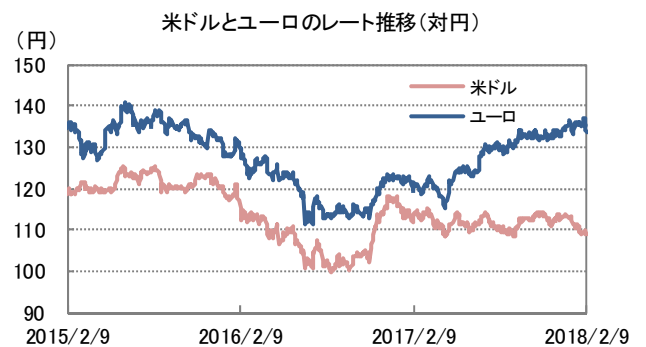
■ その他の資産

国内REIT市場は2週連続の下落。
海外REIT市場は2週連続の下落。
原油先物市場(WTI)は6日続落。米国内での産油量拡大による需給悪化懸念が強まった。
金先物は下落。対ユーロでの米ドル高や米利上げペース加速への懸念が売り材料となった。



■ 外国為替市場

米ドル/円は下落。米国株式の急落を背景に低リスク通貨とされる円への買いが強まった。週末の海外市場では米国株式の反発を受けて反発した。
ユーロ/円も下落。ドイツの大連立政権の樹立を巡る不透明感の高まりや米長期金利上昇への懸念を背景に対米ドルで積み上がったユーロの買い持ち高を減らす動きが出た模様。週末の海外市場では米国株式の反発を受けて反発した。



■ 主要経済指標

【国内】

景気ウォッチャー調査(1月)・・・現状判断指数は前月から▲4.0ポイントの49.9。先行き判断指数も低下。

【海外】

<米国>

貿易収支(12月)・・・赤字額は前月比+5.3%の531億米ドル、2008年10月以来の高水準。

<中国>

貿易統計(1月)・・・米ドル建の輸出は前年同月比+11.1%。輸入は同+36.9%の大幅増加、前年との連休時期のずれなども影響。

■ 今週の焦点

【国内】

2月14日に2017年10-12月期の実質GDP(国内総生産)成長率(1次速報値)が発表されます。

【海外】

米国では2月14日に消費者物価指数、小売売上高、15日に鉱工業生産指数、16日に住宅着工件数といずれも1月分の指標が発表されます。

(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。